

機関番号：33702

研究種目：基盤研究（B）

研究期間：2008～2010

課題番号：20300278

研究課題名（和文）学習者の目的に応じた多視点映像教材の開発研究

研究課題名（英文）A Study into the Development of Multi-Viewpoint Images as Teaching Materials to Cater for Various Learner Needs

研究代表者

久世 均 (KUZE HITOSHI)

岐阜女子大学・文化創造学部・教授

研究者番号：20434491

研究成果の概要（和文）：

学習教材を多方向から同時に撮影し、学習者の目的に応じた多視点映像として教材化すると共に、その多視点映像教材の教育利用について研究した。

研究成果の概要（英文）：

Learning resources were videoed simultaneously from multiple angles, and were developed into teaching materials. These were then studied for their potential usage in educational facilities as multi-viewpoint image teaching materials.

交付決定額

（金額単位：円）

	直接経費	間接経費	合計
2008年度	6,000,000	1,800,000	7,800,000
2009年度	2,600,000	780,000	3,380,000
2010年度	4,500,000	1,350,000	5,850,000
総計	13,100,000	3,930,000	17,030,000

研究分野：総合領域

科研費の分科・細目：科学教育・教育工学・教育工学

キーワード：メディアの活用・教材開発

## 1. 研究開始当初の背景

最近の情報技術等の進展に伴い、多様な学習者に対応した多方向から撮影した教材化の開発がなされてきた。また、高品位で大容量の記録も安価で可能になり、また大容量記憶装置や高速ネットワークが急速に進み、映像教材も高品位で大容量の配信が可能になった。従来の学習教材の撮影方法や記録方法は、単方向からの撮影・記録が主なものであり、撮影方向には教材作成者の撮影意図が多く反映されていた。今後、多様な学習者に対応した映像の教材化を考えると、これまでの単方向を主として撮影・記録されてきたものから、多様な視点で教材を提示することが必要となる。

## 2. 研究の目的

本研究では実験や観察等の映像教材を多

方向同時撮影することにより多視点映像として教材化し、これらの大量の映像の記録、再現・提示の可能性について検討を進める。多視点映像とは、ある撮影対象を多数のカメラで同時に撮影した図1のような映像データである。例えば、スポーツ中継において、野球の投手を、スタンド側から、バックネット裏側から、ベンチ方向からなど、様々な場所から競技の様子を撮影した映像である。他の例としては、多数のビデオカメラを使用したビルの監視、運動会などで多数の保護者がビデオカメラで自分達の子供を撮影したような映像などが挙げられる。

多視点映像は、一台のカメラでは撮影できない同じ被写体を別のアングルから複数のカメラで撮影する方法であるが、多視点映像を扱う際の問題点として以下のような事が挙げられる。

- ①複数の場所から撮影しているので、各カメラの撮影場所を把握するのが困難
- ②映像量が大量であるので、注釈付けや管理が困難
- ③多視点の映像データから必要な映像を検索する方法が困難
- ④自由視点映像を提示する方法が困難

このため多視点の教材の作成には、多様な環境の中で、被写体の状況を確実に、事実に基づいて記録し、教材化すること、更にそれらの多視点映像教材を用いた授業や自己学習教材としての利用方法等の総合的な教材化の開発が多様な学習者に対応した映像の教材化の開発として重要である。そこで、本研究では、3年間でその基礎研究として次のように多視点映像教材の撮影、管理、提示の方法について研究する。

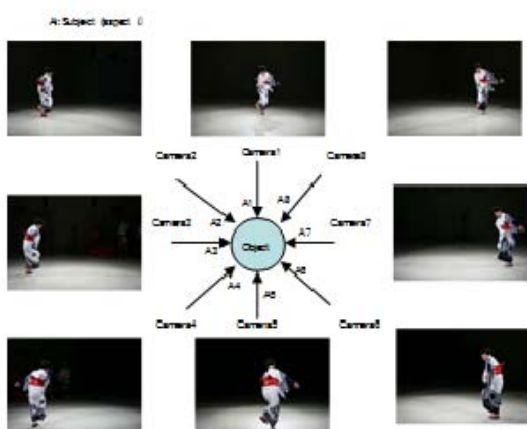


図1 多視点映像教材

### 3. 研究の方法

#### (1) 多視点映像教材とその撮影方法の研究

映像教材は、これまで、単方向からの撮影が主であり、同時に多方向からの撮影が困難なため記録されていないのが現状である。しかし、学習教材の記録には、撮影の位置方向に大きな意味のある場合が多く、動きが判断できる多視点の撮影記録が必要である。このため、複数の高品位なHDカメラを用いて、同時に多方向からの撮影できる装置とその撮影方法を研究する。

#### (2) 多視点からの映像の記録とデータ管理技術についての研究

多視点から同時に撮影をして得るデータは、独立した複数個のデータである。これらのデータには、同時性の観点からいろいろな比較検討が可能になるデータ管理が必要であり、これらの方法についての検討を行う。

#### (3) 画面、各種の比較検討をするための提示方法について研究

多視点で同時撮影した映像は、それぞれ独立したデジタル・カメラで撮影していて、こ

れらの映像をどのように提示し、実験観測などの分析・評価などに利用するかが重要である。このため多方向からの映像の配列の方法、各撮影位置の視点から、どのような画面を提示し、相互の関係を見るかが大きな課題である。

そこで、多視点の画像一覧をもとに、多視点の対面している画面、連続画面、各画面による変化を見るための画面、各種の比較検討をするための提示方法について研究を行う。

#### (4) 多視点映像教材の評価について研究

映像教材の開発、研究により、これまでの単方向映像による教材データベースを中心にした状況から、学習者の目的に応じた多視点映像教材としての利用へと発展させた。特にこれまでの静止画教材データベース等を用いた資料管理から、教材として必要な文脈のある多視点動画情報と画像が鮮明な多視点静止画情報を利用する方法などその利用方法が多様化し、各メディアの特性に対応した教材の検討をするための評価が望まれた。ここでは、これらの教材としての評価方法について研究する。

#### (5) 新しい多視点映像化技術の開発

本研究では、教材資料の多視点化を目指した研究として、実験観察をする対象の周囲に多数のHDビデオカメラを配置し、それらによって撮影された多視点ビデオ映像と同対象の周囲に多数のデジタル・カメラを配置し、それらによって撮影された多視点映像により、実験観察の特徴を抽出し、総合化を実現することにより、より活用しやすい多視点教材化技術の開発を目指す。

### 4. 研究成果

学校の学習教材を中心に多視点動画で撮影し、学校教育において効果がある教材として以下の学習教材を開発した。

#### (1) 体育における多視点映像教材

小学校において、マット運動や跳び箱・鉄棒運動は指導が難しい内容である。ほとんどの教師が器械運動を指導する上で、指導者は示範（見本）できる能力が必要であると答えていた。その理由として、「見せることによってイメージが作りやすい」という答えが多かった。これは、やったことのない動きを覚えよう（教えよう）とするときまず、その動きを実際に見る（見せる）ことから始まり、次にその動きをまねるというプロセスを経ることが一般的に考えられるからである。そこで、これらの基本運動について多視点で動画を撮影し、単視点映像と多視点映像による教材を比較し教育効果について検証することが必要となる。

そこで、小学校体育の開脚跳びを小学校3

年生の児童に実際に跳んでいただき、撮影し記録した。その撮影したデータをもとに試作の教材を作成し、現職の教員を中心に評価していただいた。そして、その評価をもとに、さらによいものとするために改善を図り、教材を開発した。

教材では、踏み切り・手の位置・足の開きを開脚跳びのポイントとして、重点をおいて作成した。しかし、教材評価や様々な意見を通して、開脚跳びは踏み切り・手の位置・肩の位置が大切なポイントだということがわかり、この3つの点に重点をおいて教材の開発を行った。

#### ① マルチアングルによる提示方法

マルチアングルとは、ポイントごとに一番分かりやすいアングルに次々と切り替わっていく映像のことである。開脚跳びのポイントの重点を踏み切り・手の位置・肩の位置に変更したことから、切り替わる順番も横→斜め→横の順番に切り替わるようにし、踏み切り・手の位置・肩の位置を強調して見せることができるようにした。

#### ② 比較映像による提示方法

比較映像とは、“うまくできる子”と“うまくできない子”の映像を選び、上下または左右に並べて比較する映像のことである。

比較映像では、速度などは変化せず、比較画面や、解説の入れ方などをわかりやすくし比較映像を完成させた。

#### ③ 合成映像による提示方法

合成映像とは、“うまくできる子”、“うまくできない子”を重ねてみることにより比較できる映像で、両者を同時に比較することが可能になる。

#### ④ 残像映像による提示方法

いくらスローにして解説を付けても、映像が残らないとわかりにくいという評価をもとに残像の映像を作成した(図2)。この映像を見ることで、どのように跳んでいったのか映像が残っているので、途中で止めたりしなくてもよい。



図2 残像映像による提示(一部)

### (2) 理科実験における多視点映像教材

実験・観察は児童・生徒の理科への興味・関心を深めるために有効な指導方法の一つ

であり、担当する教員によって工夫された実験・観察が実施されてきている。しかし気体を発生させる実験での爆発事故等、新聞やニュース等で理科の実験での事故が報じられ、児童・生徒が怪我を負って教員の責任が問われる場面も少なくない。そのために、理科実験指導方法に関わる多視点動画教材を作成することが必要となる。

4画面から同時に流れる多視点の映像では、どこが重要で最も伝えたい部分なのかが分かりにくくなってしまいうという課題がある。そこで、小学校理科における児童の実験支援方法に関する研究開発として、理科の実験の学習教材を多方向同時撮影し、多視点映像だけでなく、マルチアングル映像としても教材化した。



図3 理科教材における多視点映像教材

#### ① 多視点映像による提示方法

単視点の情報では、「見えない部分」が多く存在している。今回の実験では、その「見えない部分」をカバーするために、「正面」「右」「左」「アップ」の多視点映像を一度に見ることができる教材の映像処理を行った。(図3)この多視点映像は、今後見たい情報を自分で選び、拡大して見ることができるなど、学習者の用途に合わせた教材づくりへとつなげていくことができる。

#### ② マルチアングルによる提示方法

多視点映像では「見えない部分」をカバーすることができたが、どこが重要で最も伝えたい部分なのかが分かりにくくなってしまいうという課題があった。そこで、学習者が見たいと考えられる映像や情報提供者が取り上げたい映像を、マルチアングルで順に流していくというマルチアングル映像で構成した教材を作成した。

マルチアングル映像は見たい映像を取り上げているため、多視点映像と比較すると見える場所は少なくなってしまう。しかし、「伝えたい情報の強調」という面においては、優れた映像教材だということができる。

### (3) 造形教育教材における多視点映像教材

教材などのデジタルコンテンツを作成す

る場合にも、このような自由視点映像が要求され、学習者が必要な資料を選んで提示できるシステムが求められる。特に、造形教育の指導教材においては上部からの視点撮影教材が重要である。さらに、映像を撮影する場合、撮影者は被写体に合わせてズームアップを行うと考えられる。この研究では、ズームアップなどを行わず一定の焦点距離で撮影を行い、その教育的効果について調査した。また、造形教育指導教材におけるコミュニケーション分析により親子の関係を分析した。

#### (4) 伝統文化活動における多視点映像教材

デジタル・アーカイブにはいくつかの記録方法が考えられるが、多視点同時撮影によって、文化財や文化活動の様子・所作を正しく記録し、後世に残すことが重要である。そこで、文化活動の記録方法として、多視点同時撮影によって国重要無形文化財の「郡上踊」等を記録し、さらにそれらの情報を用いて“所作”の継承のメカニズムのための総合的なデジタル・アーカイブの開発について研究するとともに、教育への利用について研究した。

##### ○作成した主な伝統文化活動

- ・重要無形文化財「郡上踊」
- ・沖縄空手
- ・琉球舞踊
- ・エイサーなど



図4 伝統文化活動の多視点映像(一部)

#### (5) 授業実践の多視点映像教材

本学では、既に学生チューター(教育ボランティア)として学校に赴き、現職教員と一緒に教育活動を行う事業(以下学生チューター事業)に学生を参加させることによって、子どもとの関わり方について、情意面でどのように変化するかについて研究した。このような、授業実践を研究する際、授業の様子をビデオカメラで撮影することは非常に一般的である。映像記録には、筆記による記録よりも情報量の多い記録を残すことができ、見たい場面を一時停止などの操作を交えながら繰り返して試みることができる。そのため、撮影した映像は、筆記記録との併用で実践者

が自らの実践を振り返るのに、しばしば使われる。しかしそれだけではなく、教員を目指す学生の養成のための教材として用いられることもある。特に、優れた実践の映像は、教員を目指す学生や多くの教員にとっても、授業実践力を学ぶための有用な教材となる。ところが、ビデオ映像による記録には、実際に授業の場で観察を行った場合と比べると、臨場感の欠如の問題や視覚の狭さの問題がある。



図5 授業実践の多視点映像教材

複数のカメラを使って映像を撮影することには、実践の場で観察することにはない新たなメリットもある。授業の場では、観察者は一度に一つの場所にしかいることはできない。ビデオカメラを複数台設置することで、同時に複数の角度からの記録を撮ることができ、後で自分が立っていないところから観察した様子もうかがい知ることができる。教室後方から教室全体の様子と教師の様子、教室前方から児童・生徒の表情を撮影することで、教師と児童・生徒との両方を記録できるし、個々の児童・生徒の様子とその児童・生徒がおかれている全体の状況とを記録することができる。観察・記録時とは異なった点を分析したいときに、記録映像を見ることで有効なデータを与えてくれる。

ただし、複数台のカメラを使って撮影した場合、記録を見る際の手間が増大する。4台のカメラを使って撮影した場合には、映像再生時にも4つのテープを操作しなくてはならない。それぞれを個々に扱わなければならないため、あるシーンについて分析したい場合には、4本のテープを早送り・巻き戻しして当該シーンを探して分析することになる。このようなわずらわしさは、単なる手間の問題というだけではない。映像を見て授業を分析したり、教師を目指す大学生が学習したりする際の大きな障壁となる。例えば、大学生がベテラン教師の授業の風景をある角度から撮影した映像を見て、ふと別の角度からの映像で子どもの様子を確認したくなった時、テープを取替えて当該場面を検索するなどにより映像をすぐに取り出すことができなければ、大学生の作業が一時的に妨げられるというだけでなく、思考の流れが妨げられて

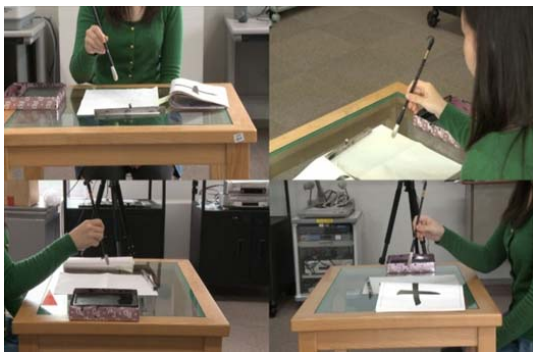
しまう。そこで、特に教員を目指す大学生が授業実践について学ぶ際に複数台のカメラで撮影した映像をより簡便に扱うことができるよう、DVDのマルチアングル機能を利用したデジタルコンテンツを開発することが必要となる。このようなコンテンツを利用することにより、学習者は思考の流れを妨げられることなく、授業実践映像を検討することが可能となる。もちろん、複数台のカメラからの記録を扱うことで、1台のカメラで撮影したときよりも授業実践についての様々な様子を見ることができるようになる。学生が授業実践について学ぶ上で非常に有用である。今後、「教職実践演習」や「教育実習」の履修を通じて、教員として必要な資質能力の確実な確認をするためにも、多視点で授業実践を記録することが必要となる。

#### (6) 書写教育における教材開発

小学校教育においては、授業は担任の教師が全ての科目を担当している。つまり教師の専門外の科目でも教えなければならない。専門家でなくても授業を円滑に進めることが大変重視される。そこで誰でも簡単に操作ができ、尚且つ授業を進める上での手助けとなる書写の授業のための教材開発を進めることにした。映像教材は、DVDでの利用を検討している。

書写の授業に映像教材を導入することにより効果的な書写指導や興味・関心を持たせ、理解の支援等の教育的効果が考えられる。

図6 書写教育における多視点映像教材



### 5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕(計21件)

- (1) 学習者の目的に応じた多視点映像教材の開発研究【1】—多視点映像の教育利用・研究での課題—, 石原茉莉奈, 久保あずさ, 宮浦佑美奈, 丸山真未, 久世均(岐阜女子大学) 日本教育情報学会 教情研究 EI08-1(2008-06) P15-P21 [査読有]
- (2) 学習者の目的に応じた多視点映像教材の開発研究【2】—小学校理科における児童の実験支援方法に関する研究開発—, 久世均, 東海幸恵, 宮浦佑美奈, 齋藤陽子(岐阜女子大学) 田代学, 日比野安平(サイエンスワール

ド) 日本教育情報学会 教情研究 EI09-1 (2009-02) P7-P12 [査読有]

(3) 学習者の目的に応じた多視点映像教材の開発研究【3】—遠隔教育における表示映像の違いが理解度に与える影響に関する調査—, 市川裕子, 小林紘子, 東海幸恵, 水野麻衣子, 久世均(岐阜女子大学) [査読有]

(4) 学習者の目的に応じた多視点映像教材の開発研究【4】—小学校体育・器械運動における児童の学習支援方法に関する研究開発— 久世均, 小林紘子, 久保あずさ(岐阜女子大学) 上出武則(高山市教育委員会), 松本香奈(岐阜女子大学) 内藤譲, 川口純子(岐阜県スポーツ科学トレーニングセンター) [査読有]

(5) 学習者の目的に応じた多視点映像教材の開発研究【5】—伝統文化教材作成の視点と教材作成—, 久世均, 石原茉莉奈, 丸山真未, 市川裕子, 齋藤陽子(岐阜女子大学) 長尾順子(沖縄県教育庁), 宮里祐光(沖縄教育カレッジ) 日本教育情報学会 教情研究 EI09-1 (2009-02) P13-P18 [査読有]

(6) 学習者の目的に応じた多視点映像教材の開発研究【6】—実践的な教師力を養成するための教材研究—, 久世均, 齋藤陽子, 松本香奈(岐阜女子大学), 川田英樹(山県市立高富小学校) 日本教育情報学会 教情研究 EI09-3 (2009-07) P15-P20 [査読有]

(7) 学習者の目的に応じた多視点映像教材の開発研究【7】—学校教育における「伝統」と「文化」— 齋藤陽子, 久世均, 松本香奈(岐阜女子大学) 嘉手苺徹(沖縄空手研究所) 教情研究 EI09-3 (2009-07) P21-P28 [査読有]

(8) 学習者の目的に応じた多視点映像教材の開発研究【8】—小学校における体育教材の開発—, 松本香奈, 齋藤陽子, 久世均(岐阜女子大学) 内藤譲(岐阜県スポーツ科学トレーニングセンター) 日本教育情報学会 教情研究 EI09-3 (2009-07) P29-P34 [査読有]

(9) 学習者の目的に応じた多視点映像教材の開発研究【9】—主体的な学習態度を育てる体育映像教材の開発研究—, 久保あずさ, 小林紘子, 齋藤陽子, 松本香奈, 久世均(岐阜女子大学) 日本教育情報学会 教情研究 EI09-5 (2009-11) P25-P30 [査読有]

(10) 学習者の目的に応じた多視点映像教材の開発研究【10】—小学校理科教材の多視点映像の処理方法と教材作成—, 東海幸恵, 宮浦佑美奈, 齋藤陽子, 松本香奈(岐阜女子大学), 田代学(サイエンスワールド), 久世均(岐阜女子大学) 日本教育情報学会 教情研究 EI09-5 (2009-11) P31-P36 [査読有]

(11) 学習者の目的に応じた多視点映像教材の開発研究【11】—授業研究のための多視点映像教材の開発—, 市川裕子, 丸山真未, 齋藤陽子, 松本香奈, 久世均(岐阜女子大学) 日本教育情報学会 教情研究 EI09-5

(2009-11) P37-P42 [査読有]

(12) 学習者の目的に応じた多視点映像教材の開発研究【12】—書写教育における多視点映像教材の開発—, 石原茉莉奈, 西山さゆり, 松本香奈, 齋藤陽子, 久世均 (岐阜女子大学) 日本教育情報学会 教情研究 EI09-5 (2009-11) P43-P48 [査読有]

(13) 学習者の目的に応じた多視点映像教材の開発研究【13】—小学校理科教材の多視点映像の処理方法と教材作成—, 東海幸恵, 宮浦佑美奈, 齋藤陽子, 松本香奈, 田代学 (サイエンスワールド), 久世均 (岐阜女子大学) [査読有]

(14) 学習者の目的に応じた多視点映像教材の開発研究【14】—主体的な学習態度を育てる体育映像教材の開発—, 小林絃子, 久保あずさ, 齋藤陽子, 松本香奈, 久世均 (岐阜女子大学) 日本教育情報学会 教情研究 EI10-1 (2010-02) P65-P70 [査読有]

(15) 学習者の目的に応じた多視点映像教材の開発研究【15】—小学校理科教材の多視点映像処理方法と教材作成—, 東海幸恵, 宮浦佑美奈, 齋藤陽子, 松本香奈, (岐阜女子大学), 田代学 (サイエンスワールド), 久世均 (岐阜女子大学) 日本教育情報学会 教情研究 EI10-1 (2010-02) P71-P76 [査読有]

(16) 学習者の目的に応じた多視点映像教材の開発研究【16】—授業研究のための映像教材の研究—, 市川裕子, 丸山真未, 齋藤陽子, 松本香奈, 久世均 (岐阜女子大学) 日本教育情報学会 教情研究 EI10-1 (2010-02) P77-P82 [査読有]

(17) 学習者の目的に応じた多視点映像教材の開発研究【17】—書写教育における多視点映像教材の開発—, 石原茉莉奈, 西山さゆり, 松本香奈, 齋藤陽子, 久世均 (岐阜女子大学) 日本教育情報学会 教情研究 EI10-1 (2010-02) P83-P88 [査読有]

(18) 学習者の目的に応じた多視点映像教材の開発研究【18】—授業分析に必要な教育資料の構成と総合化—, 長慶寺香, 阿部彩野, 松井久美子, 二ノ宮のり, 水端めぐみ, 齋藤陽子, 久世均 (岐阜女子大学) [査読有]

(19) 学習者の目的に応じた多視点映像教材の開発研究【19】—多視点映像教材の流通と授業への活用—, 阿部彩野, 長慶寺香, 松井久美子, 二ノ宮のり, 水端めぐみ, 齋藤陽子, 久世均 (岐阜女子大学) [査読有]

(20) 学習者の目的に応じた多視点映像教材の開発研究【20】—授業分析に必要な教育資料の構成と総合化—, 長慶寺香, 阿部彩野, 齋藤陽子, 久世均 (岐阜女子大学) [査読有]

(21) 学習者の目的に応じた多視点映像教材の開発研究【21】—多視点映像教材の流通とその課題—, 阿部彩野, 長慶寺香, 齋藤陽子, 久世均 (岐阜女子大学) [査読有]

[学会発表] (計6件)

(1) 学習者の目的に応じた多視点映像教材の開発研究【II】—遠隔教育における表示映像の違いが理解度に与える影響に関する調査—市川裕子・小林絃子・東海幸恵・水野麻衣子・久世均 日本教育情報学会 第24年会 2008年 Aug. 19-20 42-45 2008年8月19日

(2) 小学校理科における児童の実験支援方法に関する研究開発, 久世均・齋藤陽子・田代学・日比野安平 日本教育情報学会 第25年会 2009年 Aug. 22-23 228-231 2009年8月22日

(3) 授業分析におけるデジタル・アーカイブ手法の開発【I】～授業分析に必要な教育資料の構成と総合化～, 久世均・齋藤陽子・長慶寺香・阿部彩野・松井久美子・二ノ宮のり・水端めぐみ 日本教育情報学会 第26年会 2010年 Aug. 21-22 62-65 2010年8月21日

(4) 多視点映像記録を用いた電子教科書の教材開発の研究～小学校教育教材の構成について～松本香奈・久世均 日本教育情報学会 第26年会 2010年 Aug. 21-22 394-397 2010年8月21日

(5) 我が国と諸外国における授業のビデオ分析と教員養成への活用効果に関する研究【I】～英国の授業デザイン分析手法の開発～, 齋藤陽子・久世均・長慶寺香・阿部彩野・松井久美子・二ノ宮のり・水端めぐみ 日本教育情報学会 第26年会 2010年 Aug. 21-22 78-81 2010年8月21日

(6) 電子教科書の製作会社の機能の検討 久世均 日本教育情報学会 第26年会 2010年 Aug. 21-22 430-433 2010年8月21日

[図書] (計1件)

学習者の目的に応じた多視点映像教材の開発研究報告書, 2011.3 久世均

[その他]

ホームページ

<http://hkl.gijodai.ac.jp/info/>

## 6. 研究組織

### (1) 研究代表者

久世均 (KUZE HITOSHI)

岐阜女子大学・文化創造学部・教授

研究者番号: 20434491

### (3) 連携研究者

齋藤陽子 (SAITO YOUKO)

岐阜女子大学・文化創造学部・講師

研究者番号: 00553009

松本香奈 (MATSUMOTO KANA)

岐阜女子大学・文化創造学部・助教

研究者番号 : 20553051